

(様式1)

令和2年度学校パワーアップ事業全体構想

荒川区立尾久小学校

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容		
未来を拓きたくましく生きる子供を育成する (荒川区教育ビジョン中長期目標より) ～ 何事にも一生懸命取り組む良い習慣と、 自他を大切に作る良い習慣をもつ元気な子供の育成 ～		
学力向上マニフェスト	創造力あふれる教育の推進	未来を拓く子どもの育成
【学びづくり】 ○基礎的・基本的な 学習内容の定着 (国語科・算数科) ○社会科・理科教育の充実 (社会科、理科) ○補充学習の充実と徹底 (国語科・算数科を中心に) ○深い学びづくり (全教科・領域)	【学びを支える力づくり】 [生活づくり] ○基本的な生活習慣 の定着・向上 [健康・からだづくり] ○一日60分間運動の実施 [環境づくり] ○豊かな教育環境の充実・整備 ・英語教育の充実 ・SDGsのスタートアップ ・図書館ロードの充実・整備 ・児童褒賞制度の充実	【未来への学びづくり】 [環境教育の推進] ○ヤゴを通じた環境教育 ○尾久米の栽培 ○エコカーテンの制作 ○花いっぱい事業 [伝統文化の尊重] ○伝統音楽教室 ○俳句教室

令和元年度全国・東京都・荒川区学力調査に関する結果 (平均正答率：%)
 区学力調査 (全学年)

	1年		2年		3年		4年			
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	社会	算数	理科
自校	84.8	89.3	87.0	88.8	83.3	83.2	73.4	71.5	79.6	68.2
区	74.5	80.7	84.2	87.3	76.5	77.2	68.8	68.9	77.9	62.8
区との比較	10.3	8.6	2.8	1.5	6.8	6.0	4.6	2.6	1.7	5.4
	5年				6年					
	国語	社会	算数	理科	国語	社会	算数	理科		
自校	76.2	60.4	68.4	65.9	74.7	70.8	71.3	66.2		
区	73.6	57.5	67.4	64.8	71.0	67.6	66.5	61.5		
区との比較	2.6	2.9	1.0	1.1	3.7	3.2	4.8	4.7		

都学力調査(5年)

	国語	社会	算数	理科
自校	68.1	67.8	63.3	56.4
東京都	67.0	66.3	60.0	56.6
都との比較	1.1	1.5	3.3	▲0.2

全国学力・学習状況調査(6年)

	国語	算数
自校	64	69
全国(公立)	63.8	66.6

※自校は整数、全国(公立)については小数で公表され、正確な差を導くことができないため比較については表記しません

(様式2)

令和2年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立尾久小学校

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
○基礎的・基本的な 学習内容の定着 (国語科・算数科)	【内容】 区調査より国語科では課題であった「書く能力」が全学年で区平均正答率を上回った。算数科では「数学的な考え方」も向上した。しかし、学年による差は依然散見する。 【目標】 区平均正答率より 国語+7P 算数+5Pを目指す。 (R1 国語+5.1P 算数+3.9P)
○社会科、理科教育 の充実 (社会科・理科)	【内容】 区調査より社会科「観察・資料活用の技能」、理科「科学的な思考・表現」における課題は解決しつつある。さらに活用における「表現力」の向上を目指す。 【目標】 区平均正答率より 社会科+3P 理科+5Pを目指す。 (R1 社会科+2.0P 理科+3.8P)
○補充学習の 充実と徹底 (国語科・算数科 を中心に)	【内容】 学力向上委員会を中心に、授業時はもとより、あらかわ寺子屋とも連携し、自学プリントへの取組や、タブレットPCを活用した東京ベーシックドリルの活用を推進する。 【目標】 自学プリントへの取組率の向上 東京ベーシックドリルの活用の推進
○深い学びづくり (全教科・領域)	【内容】 学習指導要領の全面実施に伴い、全教科・領域を対象に深い学びを具現化する授業づくりを進める。そのために各方面から外部講師を招聘し、研究、実践の充実を図る。 【目標】 分かる授業→ 児童95% 保護者95%を目指す。 (R1 児童89% 保護者93%)
あらかわ寺子屋	【内容】 全学年児童を対象。自学への取組を中心に、宿題のサポートや宿題忘れへの対応、自学プリントや東京ベーシックドリルを活用した補充学習などを年間を通して行う。 【目標】 実施回数 130回程度 活用人数 40/日